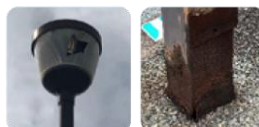


共創テーマ採択の理由: 近年、街路灯・カーブミラー等公共インフラの経年劣化による事故等が全国の自治体で多発
街路灯の国内高シェアを有するEW社として、公共インフラを効率的に予防保全可能な
プラットフォームを提供し、みなさまの安心・安全の実現に寄与したい

アルビト社の強み

AIによる画像解析技術
インフラメンテナンス
DXの豊富な実績



×

パナソニック EW社の強み

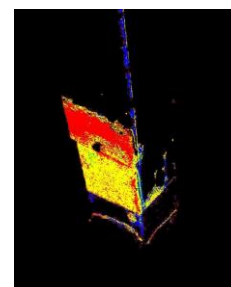
公共インフラとしての
街路灯(国内シェア40%)
日本全国の販売拠点
(76営業所)



共創のポイント:

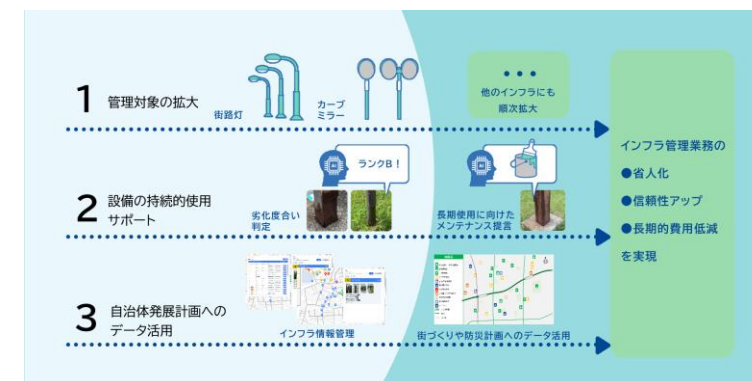
短期間で目的であるキーファクター(画像解析)の実装目途を見極め、事業化に向けた検討論点を洗い出し
仮説検証を繰り返すアプローチでプロジェクトを推進

プログラム活動の様子(テーマ採択から約4か月でデモデイまで到達)



AIを用いてサビ領域を判定

共創活動後の計画:自治体における実装に向けた検証を実施



- ・愛媛県内複数自治体において、実装に向けた管理データのDX化・劣化診断アプリの検証等を実施
- ・省庁・自治体等への更なるヒアリングにより、中長期的には管理対象を拡大した公共インフラ予防保全プラットフォームの構築を検討

共創活動後のパナソニックとの関係

- ①自治体の予算化・導入に向け
 - ・省庁・自治体へのヒアリング・ロビー活動の共同実施
 - ・双方における劣化診断アプリの継続的アップデート
- ②中長期に向けて
 - ・双方で継続的ビジネスモデル、今後の関係に関する検討

アルビト社のコメント

本プログラムはスポットでの共創ではなく、お互いが主体的に活動し事業化を継続的に推し進めることができている点、さらに記者見学会といった広報の機会を得たことによって2社での事業発展を更に加速させるきっかけとなったことに感謝しております。